

## 令和7年度の施政方針について伺う



いしだ えりこ  
 凌雲の会 石田江利子



**Q** 新たな基本計画として運営の総合的な指針となる第7次総合計画の策定において、未来デザインとの関係を伺う。

**A** 焼津未来デザインはダイヤモンド構想を発展的に再構築し、まちづくりの基本的な考えを整理したもので、おおむね20年後の考えや未来像を実現するための方向性を示している。

**Q** 考え方とスケジュールはどうか。

**A** 基本構想は第6次総合計画で掲げた将来都市像や基本理念を継続し、4つの考えを踏まえ策定を進める。①地域課題、行政課題の解決に必要な短期、中期的な計画②市民とともにまちづくりを支え合う計画③横断的な視点による課題解決に向けた計画④環境変化に対応しながら成果向上を図る計画とする。本年度は市民アンケート調査、庁内体制の整備と施策の柱立てを検討する。次年度は具体的な施策の内容の検討と、市民意見を聴取し、基本計画の素案をまとめる。

**Q** 総合計画の推進エンジンのプロジェクトチームの現状と今後は。

**A** プロジェクトチームは再構築を行い、複数の部署にわたる重要な施策や課題に対し、職員等の知識、経験及び能力を集積し、機動的かつ横断的に対応する。

### 新病院建設基本設計 再度見直し

**Q** 平成30年3月に基本計画を策定し、基本設計に取り組んだが、

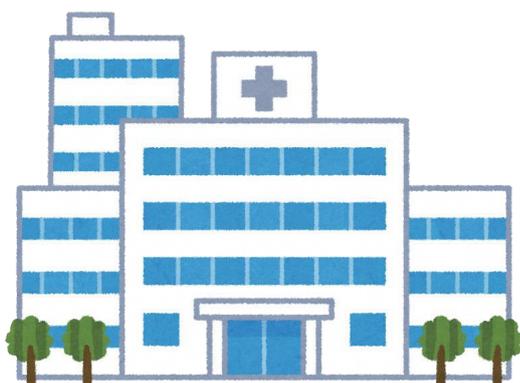
新型コロナウイルス感染症の拡大から令和5年度に基本設計を見直した。その後予想を上回る急激な物価高騰や労務費の上昇等により、概算工事が当初約300億円から約460億円に増大し、金利と合わせ約600億円になる事から再度見直すとのことである。経緯を伺う。

**A** 経営体力の強化に取り組みとともに、受療動向や医療機能の変化に対応するため、昨年度から次年度にかけて基本設計を見直した。地域医療を支える中核病院として、高度急性期、急性期

医療、災害医療などへの対応や新興感染症対策、心臓カテーテル室の整備、医療機能の充実や省エネ、脱炭素対策等を取り入れ、建設費の見直しも行ったが概算事業費の増大、受療動向の変化のため、再度見直しとした。

**Q** 見直しの考えと今後の予定は。

**A** 病床数の見直しや医療従事者の確保等、業務、人員配置の効率化やランニングコストにも配慮する。基本設計を令和7年度早期に完了し、令和12年以降の早い時期の開院を目指す。



# 市長4期目の市政運営にあたり 市民の関心が深い政策について伺う

## 代表 質問



自由みらい 奥川 清孝



### 子育て・教育政策

**Q** 令和7年度の重点取り組みは。

**A** 県内初の独自支援策として、放課後児童クラブの利用料について第1子の利用の有無に関わらず、第2子以降の小学校3年生以下は無料とし、4年生以上は半額とする。全ての小中学校舎トイレの洋式化が完了する予定。また小中学校体育館へのエアコン設置も完了する予定。今後は、教室内のロッカー、体育館のトイレ改修、学校施設の照明もLED化を進めている。

### 健康・医療・福祉政策

**Q** 地域支援事業と在宅医療・介護連携推進事業の内容は。

**A** 通いの場や個別の家庭訪問、介護予防を学ぶ機会の提供など活動の場の創出等に取り組み。医師会と連携し、訪問診療の提供体制等の協議を進める。早い段階から人生の最終段階における自分の望む医療やケアを家族等と共有するアドバンスケ

アプランニングの普及啓発に取り組み。

### 経済・観光・交流政策

**Q** 海業の戦略的推進の内容は。

**A** 海業事業計画では、焼津漁港新港地区に水産観光交流施設をはじめ、民間事業者を主体とした事業の実施を計画している。

**Q** 陸と海の賑わい交流の推進と展望は。

**A** 焼津インター周辺地域の利活用については、焼津さかなセンターのリニューアルの検討を支援する。防災機能を備えた道の駅も検討を進め、地域の賑わい創出を目指して再構築していく。

### 防災・都市基盤政策

**Q** 避難者に対する生活支援は。

**A** 令和7年度に導入する被災者支援システムにより、罹災証明書発行や被災者生活再建支援金の支給手続きなどが迅速化されることで、被災された方々への生活支援につながる。

**Q** 焼津駅周辺の賑わいや魅力あるまちづくりの内容は。

**A** 駅舎や駅前広場、都市機能の集約による拠点施設の再編、市街地再開発事業による良好な住環境の再構築を推進する。

### 行政経営と健全財政政策・都市基盤政策

**Q** 市債残高減少と財政健全化の具体的な取り組みは。

**A** 収入の確保を図るため、企業誘致や移住定住人口の増、ふるさと納税の推進に取り組み。また交付税措置のある有利な地方債の活用、基金の計画的積立など、将来負担の軽減に努める。



# 第6次総合計画第2期基本計画の 総仕上げと次期総合計画策定に向けて

## 代表 質問



公明党議員団 鈴木 浩己



### 第6次総合計画の 着実な推進

**Q** これまで7年間の課題について  
伺う。

**A** 本格的な人口減少時代を迎え、  
様々な分野で複合的な課題が顕  
在化してきており、特に労働力  
人口の減少に伴う産業やサービ  
スの維持のほか、インフラの老  
朽化への対応、超高齢社会にお  
けるコミュニティの希薄化、  
移住定住の促進などが課題であ  
ると考えている。

**Q** 市民意見により施策の改善が図  
られているか。

**A** 市民意識調査におけるデータや  
自由意見から市民ニーズを捉え  
施策に反映してきているため、  
改善につながっているものと考  
えている。

**Q** これまで組織横断的な取り組み  
による課題解決に向けた取り組  
みと実績は。

**A** 18のチームにより組織を横断し  
た課題解決に取り組んでいる。  
これまでDX推進による市民

サービスの向上と行政の効率化、  
全国でも先進事業である困りご  
とマルっとサポートセンターの  
整備、猛暑対策の充実、帆船日  
本丸の招致など、多くの成果を  
得ることができた。



第6次総合計画の総仕上げ！

### 次期総合計画への取り組み

**Q** より一層、民意が反映される次  
期総合計画のために、策定の体  
制や特に配慮された点があるか。

**A** 新たな取り組みとして、商業や  
漁業、子育てや教育などの団体  
に対するヒアリングの実施や市  
の公式LINEの活用により把

握をしていきたいと考えている。  
**Q** 大型投資が次期総合計画の計画  
期間内で行われる。新たな施設  
や既存施設のマネジメントに係  
る財政負担についてどのように  
考えているか。

**A** 近年の物価高騰や金利の引上げ  
といった社会情勢の変化などを  
踏まえ、公共施設等総合管理計  
画や個別施設計画においても考  
慮していく必要がある。

**Q** 公共サービスと民間サービスの  
狭間で困窮するケースとして、  
妊婦の移動支援や高齢者等のご  
み出し支援が該当するが、どう  
考えているか。

**A** 妊婦の移動支援、救急車の利用  
については、陣痛時や体調の急  
変などにより、すぐに医療機関  
に向かう必要性がある場合は躊  
躇なく救急要請が可能である。  
高齢者等のごみ出し支援につい  
て、新たな住民主体の活動に対  
する支援を通じて、好事例が他  
の地区へ広がるように取り組み  
を進めていきたいと考えている。

# 施政方針～暮らし・福祉・子ども・女性・平和を守るために

## 代表質問

日本共産党市議会議員団 <sup>ふか</sup> <sup>だ</sup> <sup>こ</sup> 深田ゆり子



### 物価高騰への緊急支援

**Q** ガソリンや食料品価格の物価高騰が続き生活が一層厳しくなっている。介護・福祉事業所へガソリン代補助や低所得世帯へ生活必需品の購入支援はどうか。

**A** ガソリン代の助成は、現在、市独自の支援は考えていない。低所得世帯である住民税非課税世帯に対し、国の経済対策として1世帯3万円、当該世帯に扶養されている18歳以下の子どもに対し、1人2万円を給付する。市独自として経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に夏季休業期間中の昼食費や進学、進級時の教育費の支援を行う。

### 高齢者に無料バス・タクシー券を

**Q** 自動車の免許返納者や高齢者から「病院への通院にバス停が近くになく、タクシー代が1回往復4千円以上かかる」声がある。高齢者の通院時などへ無料のバ

ス・タクシー券を。

**A** 現在のところ実施の計画はない。

### 放課後児童クラブへの支援

**Q** 第2子以降の利用料を市独自の支援策として、令和7年度から第1子の利用に関わらず、小学3年生以下を無料、4年生以上は半額とするとのことで、一歩ずつ前進している。支援員配置充実のための補助はどうか。

**A** 国の基準に基づき、放課後児童支援員等処遇改善事業及び放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業を行っている。



### 学校給食マーガリンパンの改善を

**Q** マーガリンパンのマーガリンやショートニングの原材料は植物

油脂と表示されている。輸入の

パーム油を使っているのではないか。パーム油は、森林破壊の環境問題、児童労働問題、健康問題がある。他の物に改善を。

**A** 栄養価やバランスを考えて献立を作成し、他にもロールパンやアップルパンなど安全性が確認されたパンを提供している。

**Q** パンの油脂、ショートニングは何の原材料からできているのか。  
**A** そちらまで把握していない。

### ジェンダー平等推進のために

**Q** 全ての学生に生理用品を、と県内でプロジェクトが始まっている。本市も庁舎、公共施設、学校トイレに生理用品の常備を。  
**A** 現在、公共施設のトイレへの常備は考えていない。

### 戦後80年の節目の年

**Q** 特別な平和事業はどうか。  
**A** 本市が加盟する平和に関する団体と連携し、被爆80周年記念事業に参画していく予定である。